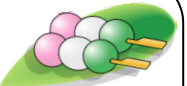


県立多治見病院 緩和ケアチーム通信



発行：県立多治見病院 緩和ケアチーム 2015年 4月号 VOL.49

文責：伊藤浩明 編集：櫻田亜矢子

今年度の目標

平成27年度が始まりました。昨年度のチーム統計をまとめました(下表)。昨年度より緩和ケアセンターの運用が始まりましたが、まだまだ整備が追いついておりません。昨年度の年間依頼件数も70件と伸び悩んでおります。

各スタッフはそれぞれで頑張っているのですが、当院ではすべてのスタッフが兼任であり、緩和ケアチーム以外の仕事もあるため、今くらいの仕事量ならなんとかできるけれども仕事が増えれば対応しきれなくなるというジレンマを抱えながら働いている現状です。

まずは今の仕事量を維持しながら、緩和ケアチームのスタッフが実質的に運用している緩和ケアセンターのハード・ソフト面を充実させていくことが、当面の目標です。

患者家族の訴える苦痛に焦点を当て、チームでできることを考え、主治医をはじめとする医療者の支援をしていくスタンスは失わずに進んでいこうと思っております。

緩和ケアチーム実績

1. 依頼件数		平均値	5.8	中央値	6							
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
10	10	5	6	5	6	8	6	2	5	5	2	70

2. 区分	人数	割合
がん	69	99%
非がん	1	1%
小児	0	0%
計	70	100%

3. 依頼の時期	人数	割合
診断から初期治療前	8	12%
がん治療中	21	30%
積極的がん治療終了後	40	58%
計	69	100%

4. 依頼内容	人数	割合
がん疼痛	42	35%
疼痛以外の身体症状	23	19%
精神症状	11	9%
家族ケア	13	11%
倫理的問題(鎮静など)	1	1%
地域との連携・退院支援	11	9%
その他	18	15%
計	119	100%

5. 転帰	人数	割合
介入終了(生存)	2	4%
退院(在宅ケア導入なし)	5	10%
退院(在宅ケア導入あり)	2	4%
死亡退院	19	38%
緩和ケア病棟入院	20	40%
その他の転院	2	4%
計	50	100%



第1回緩和ケア勉強会を行いました★

平成27年度、第1回目の緩和ケア勉強会を4月16日に行いました。

今年度のテーマは『症例に学ぶ ～多施設・多職種で関わる緩和ケア～』です。毎回、緩和ケア病棟や緩和ケアチームを通じて多施設で関わった事例をとり上げ、それぞれの立場からの発表をしていただきます。

第1回目の今回は、診断から緩和ケア病棟、在宅療養へ移行した患者の事例検討でした。医師からは病状の経過を、緩和ケア病棟看護師からは、在宅療養へ移行するまでの支援の様子を、訪問看護師とケアマネからは、在宅療養での看取りまでの経過をお話いただきました。在宅療養での患者さんご家族の葛藤の間に挟まれる訪問看護師は、何度もカンファレンスをしうまく折り合いをつけながら在宅療養を支えてみえました。事例を振り返り、発表者や参加者全員が深く考えさせられ、大きな学びを得ることができました。



*5月は勉強会はありません。次回開催は6月11日(木)です。